

学力向上に効果のある取組事例

杵築市立護江小学校

校内研修などによる授業改善

取組の具体①

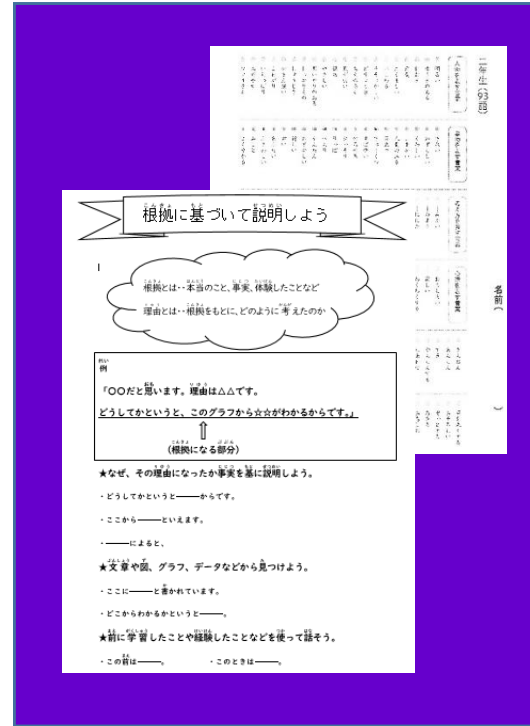
【授業改善テーマ】

「人と人との関わりの中で思いや考えを伝え合う力の育成」

○ 授業改善にむけた全教職員の共通理解 ①

理由や根拠を関係づけながら考えを表現する力の育成

- ・ 説明する時には、「根拠に基づいて説明しよう」シートを活用させる。
- ・ キーワードに着目させたり、切り返しの発問を設定したりしながら、理由や根拠を添えて自分の考えを表現する力の育成をめざす。
- ・ ペア活動を気軽に取り入れ、多く機会を設定する。
- ・ 自分の言葉で発表できる機会をつくり、途中まででもよいから、自分の考えを発表することを大切にする。
- ・ 説明用のシートと語彙力を豊かにすることを目指した「言葉の宝箱」を裏表にしてラミネートしたものを下じき代わりに児童1人1人にもたせて、日常的に活用させている。



取組の具体②

○ 授業改善にむけた全教職員の共通理解 ②

振り返りにおける視点の焦点化

- ・ めあてに視点や条件を設定することで、振り返りを焦点化しやすくし、新しく学んだ言葉を使うことも意識させながら、その時間の学習の振り返りをさせる。
- ・ 各教室にのこり10分で利用する振り返りシートを掲示し、振り返りの時間の確保と視点を意識させ、めあてや課題に沿った振り返りの充実を図っている。

各種学力調査の結果分析

- ・ 各学年の担当が正答率の低かった問題を説明した後、全員で問題を解き原因を探る。互いに意見を出し合い、課題及び改善策を共通理解して、全職員が当事者意識をもって授業に取り組む。

振り返りの視点

①めあて・課題とつなげる

「〇〇すると、〜〜〜がわかった。」

②友だちの考えとつなげる

「〇〇さんの考えで、〜〜〜と思った。」

③これからの自分とつなげる

「これから(次の授業では)、〜〜〜していきたい。」

算数科	
1	できていなかった問題
①	学力テストの問題ページP14 番号 ③(3)
正答	(ア) $9 \times \square = \Delta$
(イ)	重さが72gなので、 $9 \times \square = 72$ となります。 $\square = 8$ なので、針金の長さは、8mです。
多かった 誤答	(ア)の式を書けても、(イ)の説明ができない。
②	学力テストの問題ページP9 番号 ④(1)
正答	2
多かった 誤答	1
2	課題
①について	変わり方調べの伴って変わる2つの数量の関係を式に表すことはできて、その式を使って一方の値からもう一方の値を求める方法を説明することはできない。…4年C(1)イ(ア)
②について	面積のて、身近にあるもののおよその面積が理解できていない。…4年B(4)ア(ア)
3	改善策今後の取組
①について	-説明の仕方を変えて強化したり、誤答をもとに、何を付け加えたら良いかを考えさせたりする。
②について	-1㎠センチメートルのマスを使ったり、1㎠を新聞紙で作ったりするような操作活動をして、面積の量感をつめるようにする。

取組の具体③

○ 授業改善にむけた全教職員の共通理解 ③

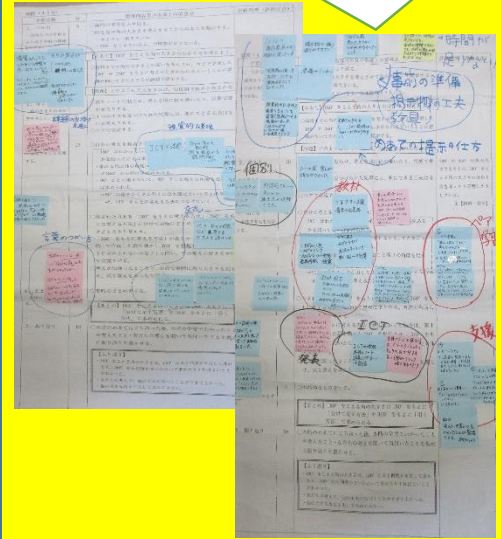
授業研究の取組

- 指導主事に指導助言を頂きながら、授業改善のテーマに沿った提案授業を行い視点を焦点化して丁寧に事後研を行う。
- 授業改善のテーマに沿った協議の視点をもとに、3色の付箋（成果やよかった点・疑問点や問題点・助言や改善点）を使って各自が意見を出し合う。それらの意見をもとに、各グループで討議をして、討議終了後、各グループの代表が全体の場で発表する。成果や課題を共有し、今後の授業に活かしていく。

【 討議の柱 】

- 振り返りにおける視点の焦点化ができていたか
- 切り返しの発問を設定して、理由や根拠を関係づけながら考えを表現することができていたか

グループごとに付箋を活用した 研究協議 (青:成果 黄:問題点 赤:助言)



取組の具体④

互見授業の取組

- 1人1回以上の互見授業を行う。その際、参観した職員は授業観察シートを活用し、授業改善のテーマに沿った視点で学習過程毎に教師の指導や児童の状況の見取りをする。
- 参観した職員が授業観察シートに各自の見取りやコメントを添えて授業者にシートを渡すことで、授業者の授業改善につなげる。
- 参観した職員も、日頃はなかなか見ることのできない様々な職員の授業を見ることで、自分の授業改善に活かすことができる。
- 板書の写真を撮り「板書の交流」を行い、互見授業毎に交流できるように努めている。

授業観察シート

2024年間 授業観察シート

○重点的取組 授業改善テーマ: 人と人の関わりの中で高いや考えを伝え合う力の育成
【取組内容】 ①振り返りにおける視点の焦点化
②振り返りの発問を設定して理由や根拠を関係づけながら考えを表現させる
【取り組み目標】
①担任や教科担任は、1日1回以上改めて見聞や条件を設定することで振り返りの視点を焦点化しやすくし、詳しくなる言葉をもつことを意識せながら学習の振り返りをする。
②担任や教科担任は1単元に1回以上、キープシートに書き添えたり、振り返りの発問を設定したりしながら理由や根拠を添えて自分の考えを伝え合わせる。

月	日()	教師	授業番()	単元()	教科()
おらい・講師					
参観の 主な学習活動					
【振り返り場面や発問、上記は「5」】					
学習過程	教師の指導(発問)	見取り	子どもの状況	見取り	コメント
おで	おでで児童や条件を設け、子どもが主体的に取り組むための発問や問いかけを準備している。		おでで児童や条件を設けられるようにし、その準備や問いかけで児童や条件を準備している。		
振り返りの場面	キープシート等に書き添えたり、振り返りの発問を設けたりしながら、理由や根拠を関係づけながら考えを伝え合わせる。		キープシート等に書き添えたり、理由や根拠を関係づけながら考えを伝え合わせる。		
振り返りの人間関係	交流発問等(ペア・グループ・全体)により、互いの考えを認め合い、自分の考えを述べたり、認めたりしている。		交流発問の中で、考えを認め合ったり、自分の考えを述べたり、認め合ったりしている。		
振り返り	おででの児童や条件を設け、振り返りの発問を準備し、子どもが主体的に取り組むための発問や問いかけを準備している。		おででの児童や条件を設けられるようにし、その準備や問いかけで児童や条件を準備している。		
振り返りの振り返り	振り返り場面や条件を設け、振り返りの発問を準備し、子どもが主体的に取り組むための発問や問いかけを準備している。		振り返り場面や条件を設けられるようにし、その準備や問いかけで児童や条件を準備している。		

【その他】